

## 【第3回 新体制発表会 オンラインカンファレンス 議事録】

このたび、2023年シーズンについてのクラブ、チーム、バンドのビジョン、展望について各部門スタッフに、新体制の経営陣であるGM（ゼネラルマネージャー）今津GMとチームの新監督である富山監督、クラブ責任者兼リーダーの藤咲結衣とスタッフチームリーダーのわらび・Nを加えてオンラインカンファレンスを実施いたしました。

### 【新体制発表会 要点】

1：チーム名を「ワンと鳴いてニャン！F.C.」から「ワンと鳴いてニャン49」に変更。  
※海外向け活動時や、略名称として「WTN49」のチーム名を使用。  
→サッカーチームのFCに合わせた活動でしたが「サッカー」の括りをないチームに。  
→アイドルグループの真似ではなく、当初25人程度でスタートしたチームも限りなく50名に近い大所帯となったことでわかりやすく49という数字を採用。  
→「ロック」もまだまだ今流行の「アイドル系」や「ボカロ系」には負けてはいないという意思表示を込めて某アイドルグループ様の数字より上をいく「49」を選択した。  
→一般的に「死人番号」として避けられる「49」だが、「固定観念を壊す」「既存のものを塗り替える」ことがロックの真髄であることであえて49という数字を使用した。「49」が新たなロックの反骨のナンバーになればという思いがある。

2：新体制のチーム経営陣、ならびに役職の変更など

- ◆新監督として元メンバーの富山芽郁が就任。  
→クラブ史上初の女性監督。女性メンバーがかなり増えた現体制においてコミュニケーションの部分にも大きな期待が寄せられている。
- ◆GMには元メンバーの今津Proが就任。  
→トップバンドだけでなく各バンドの統轄を行う。

3：2023年シーズン開幕日は4/8（土）

- ◆開幕戦ということでオンラインライブを開催予定。ベストメンバーというよりは今期新加入のメンバーのお披露目を兼ねてのメンバー選出となる見込み。

4：前体制でリリース中止になったアルバムについて

- 詳細はカンファレンスにてメンバーから発言予定。現時点でリリースの意向はなし。どうしても納得できない箇所があった為とアナウンスされているだけ。

## 【オンラインカンファレンス】

### ■1 チーム名変更リニューアルの目的、ビジョンについて

—まず、チーム名変更や大幅なリニューアルがあった経緯を。

藤咲結衣（以下、藤咲）：「皆様、2023年シーズンもよろしくお願ひいたします。昨年度後半は出演が決まっていたイベントの解約をめぐり前監督の采配が批判されていたと思いますが、どうしても3月（雪のあるシーズン）のリリースじゃないと意味がないと私がこだわっていたアルバム制作との兼ね合いもあり諸々仕方がなかった部分もありました。どちらも成功させたいがうえにとった策が結果的にどちらも失敗に終わっています。ただメンバー、スタッフから前監督への不信感が消えず、継続は厳しいと感じましたが本人は続けると話していました。ワンと鳴いてニャン！F.C.がある限り責任持って監督でいると。」

—前監督（紙聖監督）では厳しいと感じていたのか？

藤咲：「はい。そうです。じゃあワンと鳴いてニャンFCはもう続けられないなど。ワンと鳴いてニャンFCを終わらせると伝えたら、彼は自身を慕っているメンバーを連れて他のバンドを組むと決断をしました。」

今津 GM（以下、今津）：「結果的に、それで彼がいない状態を作り、そこから我々で再スタートということで。それが「ワンと鳴いてニャン49」なんだ。元監督は、え？続けるの？って驚いていたよ（笑）「うわ、はめられた」と言っていたな。しかも彼のチームについていったのは数名で、ほとんどこちらに残っているのだからちょっと笑ってしまうよな」

わらび-N スタッフリーダー（以下、スタ）：「ちょっと前監督さんの一方的な采配は私達スタッフもついていけないでした。でもバンドの事を考えるといなくてはならない人でもありましたから抜けたのは運営的に厳しいというのを知ってます」

—そんな中、後任となる監督を引き受けた富山監督。プレッシャーもあるのでは？

富山芽郁監督（以下、富山）：「ちょうど現役のアーティストとしてはやりたいことたくさんやってきて、終わり決めていた時にチームをまとめるポジションの打診があり、特に女性メンバーが増えているので彼女たちが持っている力を出せる環境を作りたいと思い引き受けた形です。」

—「49」なぜこの数字なったのか。

今津：「アイドルのパクリやんって思われるから俺は最初は反対してみたんだが、いままでのFCってサッカーでしょ。どんなインパクト与えても音楽やっている集団に思われにくい。49ならアイドルと思われるかもしれないけど少なくとも同じ音楽の土俵の団体だという認識にはなると思って」

藤咲：「49人ぴったりいるわけでもないし、49人とかでステージにあがるアイドルとは違う。もともとサッカーチームとか野球のイメージがありそこから発展してこうしたチームが出来たわけです。結果的に50人近くいる状況になって、チーム名変更をしなきゃならぬ状況になって、うーんやるならまたインパクトはないとダメだなと。パクリと思われようが実際は全然違う。なんか変わった名前アイドルだな？え？？ロックなの？って思えば、じゃあどんな音楽のロックなのか気になっちゃう。そこの狙いを攻めたいと考えています」

富山：「日本人は何でも先入観が上回りますからね。49 ああ、アイドルね。49は縁起悪い番号。って。そうした固定観念は壊すというメンタリティと方向性がロックにあっているとしました。46とか48のグループよりも上の49をつけたのもロックらしいなって」

藤咲：「メンバーは毎年増えていきこのまま60人、70人というつもりはないです。せいぜいバンド名の49前後。まあ50名前後でライブや作品ごとに6人～8人で というスタイルは続きます。チーム内にいろんなバンドがあるのも継続。ワンモアパールなど名称も生きています。」

## ■2 リリース作品、アルバムなどの展望

—どうしても3月までに こだわった作品が中止に・・

藤咲：「SNOWBELLはその名の通り雪や寒いシーズンのテーマ性が強くて4月リリースじゃもう桜とか暖かいしダメなので。という単純な理由でしたが実際2月くらいには完成の目処が立っていけるぞって思ったんですが・・最後の部分ですね。こだわって作り続けてきたケーキを最後の締めがダメだったと。それが箱や袋などが良くないのなら、入れ替えればいいだけで取り返しはつきますが、ケーキで例えれば最後のパウダーですかね。理想のチョコパウダーをまぶしたいのに間違えて抹茶パウダーをかけられてしまった。そのまま販売するのか、いちから土台から生地から焼き直すのか。」

今津：「すげえわかりやすい例えだなそれ」

富山：「まさにその通り（笑）仕上げで積み上げてきたものにホコリかぶせちゃった感じですよ。このままお蔵入りは悲しいですけど。私もレコーディング参加しましたけど」

藤咲：「タイミング的に厳しいね。勿体ないのもわかるし。でも49で継続した以上いつかはリベンジしないとイケないとは思っている」

—近々のシングルリリースはあるのか？

藤咲：「ありません」

今津：「もしかしてやる気ない？」

藤咲：「違う。他にやるべきことがたくさんある」

富山：「打ち合わせの感じだと、かなり忙しくなるし楽しみですね。これだけメンバーが多いと作品ごとにメンバー選出するのが私の役目なのでかなり大変そうです」

今津「いざとなればオレが歌うから安心してくれ（笑）」

スタ：「ええ！めっちゃ歌下手ですよ今津さん・・・」

今津：「お前よりマシだろコラ（笑）」

### ■3 クラブの取り組みについて

—コロナ対策とかでオンラインにしていたが、現状はどういう方針か

富山：「このバンドは早い段階からコロナ対策（笑）していたそうです。」

今津：「いや、だからさテレビ観呑みにしすぎだっの」

藤咲：「ちょっと待った今津 GM はしゃべらないほうがいいこれ。まあ最初は得体の知らない危険なモノ。という認識でしたから。何かあってからでは遅いという判断で当時の運営陣で決めたんです。結果としては・色々気づけた 3 年間でした。いまだにマスクの件でライブハウスは強制とかあるので、私の意向としてはリスナーにマスク強制はさせたくない。かと言ってそのへんのバンドの人間が何言ってんだと思われても仕方ないので、各自がしっかりと今の世の中何が起きているのか調べて判断すべきです」

スタ：「なのでバンドとしては、会場ライブはそうした強制のない場所で。あとはオンラインを継続という感じですよ」

藤咲：「元々コロナがどうのこうの関係なくオンライライブに重点置いてきたバンドですから。それは継続だし、もっと配信系の充実化は急がないといけない」

### ■4 新加入メンバーについて

—すでに加入しているメンバーで補強は終わりか？

今津：「メンバー補強はオレがもっと頑張らないといけないな。まだまだ、もっといいメンバー加入出来るようにする」

富山：「男性ボーカルは新外国人メンバー、女性ボーカルは SMITH 選手に期待しています。あと期待が高いのは塩野兄弟。ベースもギターも不動のポジションだったわけですが、彼らが活躍出来ると面白いかなって思います。ロック畑にあうかどうか注目です」

—今シーズンの飛躍を期待しています。ありがとうございました。

